

おきたま米づくり情報 No.4

平成30年6月6日

JA山形おきたま
やまがた攻めの米づくり日本一運動
置賜地域本部実践班

活着の状況は「並み」と見られますが、5/19の低温・強風により一部で植え傷みの大きい圃場が見受けられます。

ワキの発生も見られています。**きめ細かい水管理で、茎数を確保しましょう！**

生育状況 (5月31日、農業技術普及課生育診断圃、川西町・飯豊町の平均値)

項目	はえぬき		つや姫		概況
	調査値	平年比(差)	調査値	平年比(差)	
草丈(cm)	20.2	100%	20.9	102%	草丈：平年並み
茎数(本/m ²)	109	102%	107	99%	茎数：平年並み
葉数(L)	4.6	-0.2	4.8	+0.2	葉数：平年並み

1. 分げつ発生を促す水管理！

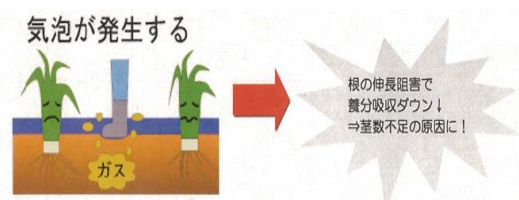
(1)田植え後の水管理

○田植え直後は、4~5cm程度の水深で活着を促進させます。活着後は、2~3cmの浅水管理とし、日中止水・夜間かんがいの保水的管理で、分げつの発生を促進させます。

(2)高温が続いています。ワキ発生注意！

○土壌還元(ワキ)の発生が見られます。ワキが発生したら、速やかに**水交換や一時的な落水(2~3日の田干し)**を行きましょう。ただし茎数不足の場合は、水交換または夜間のみ落水で対応します。

注意！(除草剤散布後7日間落水しない 必ず止水)



2. 葉いもちには十分注意しましょう！

○置き苗は、早急に処分しましょう！

○育苗箱施用剤を使用していない場合は、**6月20日までに予防粒剤を散布しましょう**

○梅雨時期は、葉いもち病の感染に好適な日が増加します。ほ場を観察、早期発見・早期防除！

3. 斑点米カメムシ類の対策(畦畔・農道など雑草地の草刈りを徹底しよう)

○病害虫防除所の情報では、**斑点米カメムシ類の発生は「やや多い」予報です。**

○地域全体でカメムシの密度を減らすことが重要です。7月20日頃まで、畦畔・農道、雑草地の除草(草刈)を地域ぐるみでしっかり行いましょう。

○水田内のイヌホタルイやノビエの残草対策もしっかりと！

(アカスジカスミカメの発生源です)



アカヒゲホリドリカスミカメ



アカスジカスミカメ

STOP！農作業事故！

◎「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。

◎暑い日には、熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！